

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	障害者団体助成				シート番号	011-113
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部	障害施策推進	課 評価責任者(課長名)
						小須田

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	3	障害者等が自分らしく輝いて暮らせる地域社会の実現	無
	2	事業開始年度	平成 20 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 (略称:障害者総合支援法)			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	昭和39年から社会参加のため障害者団体の研修会等のバス借上げ料を団体に直接補助をしていたが、平成20年度からは、特定非営利活動法人堺障害者団体連合会の発足に伴い、当団体が実施する研修会等への参加のためのバス借上料に対する補助金に変更した。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	特定非営利活動法人堺障害者団体連合会			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	研修参加や社会見学を通じて、障害者団体や障害者、その家族の交流や資質向上を図るとともに、社会参加を促進する。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	特定非営利活動法人堺障害者団体連合会に加入している障害者団体が開催・参加する研修会等に必要バス借上料を補助する。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 特定非営利活動法人堺障害者団体連合会				

Ⅲ. 投入量

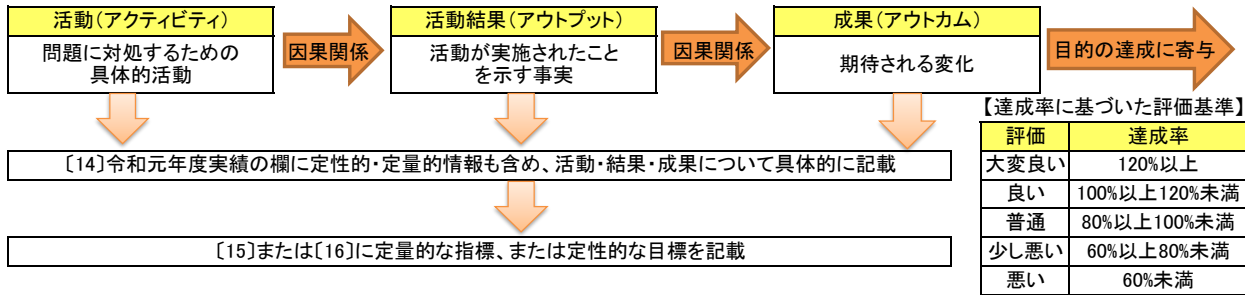
項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11 事業費 (a)	千円	6,150	6,150	6,048	6,048	5,638	4,818	5,638	
主な事業費内訳	堺市障害者団体社会参加促進事業補助金	千円	6,150	6,150	6,048	6,048	5,638	4,818	5,638
		千円							
		千円							
		千円							
	財源内訳								
	国・府支出金	千円							
受益者負担金(使用料、手数料等)	千円								
市債	千円								
その他()	千円								
一般財源	千円	6,150	6,150	6,048	6,048	5,638	4,818	5,638	
12 人件費 (b)	千円	820	820	820	820	810	810	820	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	6,970	6,970	6,868	6,868	6,448	5,628	6,458	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	障害者団体助成	シート番号	011-113
-------	---------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	<p>障害者の社会参加促進を目的に「堺市障害者団体社会参加促進事業補助金交付要綱」に基づき、特定非営利活動法人堺障害者団体連合会に加入している障害者団体が開催する研修会等への参加促進のため、必要なバス借り上げ料を補助。 令和元年度は前年より4台分削減し、55台分補助の予算とした。 障害者問題を始め各種問題等の研修により、資質向上に資するとともに、外に出ることが困難な障害者にとって、社会見学等をすることで、社会参加を促進し、障害者及び支援者相互の親睦を深めることができた。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年3月開催予定の研修等が中止になった影響により、実績は8台分減の47台となった。</p> <p>【令和元年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ バス利用台数 47台(前年差△12台) ○ 参加者数 1,223人 ○ 事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 役員の資質を高めるための研修 ・ 社会見学及び体験学習 等 						
	15	助成台数	台	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
				目標値	61	59	55	55
				実績値	61	59	47	
				達成率	100%	100%	85%	
			評価	良い	良い	普通		
		算出方法・設定根拠など 前年度実績に基づき、毎年度協議						
	16	参加者数	人	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
				目標値	-	-	1,431	
				実績値	1,581	1,585	1,223	
				達成率	-	-	-	
			評価	-	-	-		
		算出方法・設定根拠など 令和2年度より指標とするため、前年度1台あたりの乗車数をもとに目標算定(前年度1台あたり乗車数×当該年度助成台数目標数)						

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	助成台数	台	61	59	47
	②	上記①にかかる年間経費	千円	6,970	6,868	5,628
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	114,262	116,407	119,745
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①	参加者数	人	1,581	1,585	1,223
	②	上記①にかかる年間経費	千円	6,970	6,868	5,628
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	4,409	4,333	4,602
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

19	<p style="text-align: center;">目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年3月の研修会等が中止となったため、目標値を達成することができなかったが、それまでの研修会や社会見学等に参加することで、障害者団体の資質向上や、障害者の社会参加を促進することができた。</p>	<p style="font-weight: bold;">【分析のチェックポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事業の達成度はどうでしたか。 ○ 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。 ○ 資源投入は適切でしたか。 ○ 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。 ○ 有効性は高いですか。低いですか。 ○ 効率性は向上していますか。 ○ RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。 ○ ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。
----	--	---

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	障害者団体助成	シート番号	011-113
-------	---------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 障害の状況等により、大人数での公共交通機関を利用した移動が困難な方が多く利用されることで、外に出る機会が減少し社会参加に寄与していること、本事業による補助を利用する障害者団体は、障害当事者を中心とした団体が多く、会員の会費により団体運営を行っているケースが多く組織運営体制が脆弱なため、社会参加を本事業に頼っているところが多いことから、本事業を廃止することで、障害者の社会参加ができなくなる。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 休止の場合の再開時期 廃止の場合と同様 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 本事業は廃止、休止は上記のとおり不可能である。補助上限金額・台数を引き下げることは事務上は可能だが、引き下げた分障害者が外出し社会に参加する機会を減らすことにつながるため、慎重に行う必要がある。なお、団体等と調整しながら、平成25年度から無理のない範囲でバスの補助上限台数を減少させている。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要があるか。	事業手法の適切性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 単独では外出しづらい障害者が引きこもらず外に出て、研修や学習、体験などを行うための補助金であることから、実施手法の改善は見込めない。バスにおける3密は避けるよう団体に説明する必要がある。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/>) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部署との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input checked="" type="checkbox"/> その他(補助台数の見直し)	理由・説明 障害者及び障害者団体に対する助成制度は他政令市においても実施されているが、それぞれの独自事業として実施しており事業内容も異なるため、他政令市等との比較は困難である。 なお、本市においては障害者の外出を促し、もって障害者の自立と社会参加の促進に寄与するための補助金であり、事業を廃止することはできないが、バス助成台数の見直し等を行い、効果的な事業となるよう対応を行っている。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見 障害者の外出を促し、もって障害者の自立と社会参加を促進に寄与するための補助金であることから、廃止や休止は見込めない。他自治体の状況や世論の流れを見ながら、バスの補助上限金額・台数を見直し、市として可能な範囲で公金投入を縮小させていきたいと考える。		